

謹賀新年

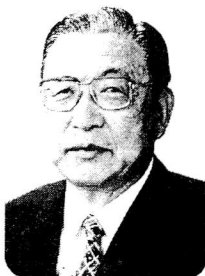


愛知 県
板金工業組合
名古屋市昭和区
北山町3-8-6
電話 732-1226
発行広報委員会



新春を迎えて

愛知県知事 鈴木礼治



あけまして
おめでとう

うぐいします

県民の皆様には、すがすがしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、皆様のご理解を得て、県政が着実に進展しておりますことを厚くお礼申し上げます。

新しい年は、景気回復の足取りをより確かなものとするとともに、県民福祉の向上など二十一世紀に向けた豊かな地域社会を築くための施策を、着実に推進してまいらねばなら

いと存じております。そうした中で、心豊かに暮らせる愛知の実現に向け、「あいち健康の森」の中心施設である「あいち健康プラザ」の一部運営開始とともに、在宅福祉サービスの充実、福祉施設の整備促進、人にやさしい街づくりの推進など、「愛フルプラン」(あいち8か年福祉戦略)に沿って福祉諸施策を積極的に推進してまいります。併せて、十月に全国精神薄弱者スポーツ大会「ゆうあいピック愛知・名古屋大会」を開催するとともに、地球規模での交流の時代に対応した国際化推進大綱や観光基本計画の策定などを進め

てまいります。また、安全で快適な愛知づくりに向け、「環境基本計画」を策定し環境配慮型の社会をめざすとともに、公園や下水道の整備、伊勢湾・三河湾の水質浄化対策など、生活環境の向上や、防災ヘリコプターの運用、耐震構造の衛星通信局の整備など地震防災体制の強化に万全を期してまいります。

さらに産業面では、科学技術交流センターの整備など研究開発機能の一層の強化、技術開発・交流の促進など技術革新への積極的な対応を進め、既存産業の高度化、情報通信など新産業の育成等を図るとともに、中小企業対策や雇用の確保などに重点的に取り組んでまいります。

一方、交流新時代への確に対応するため、国の第七次空港整備五箇年計画で事業の推進が位置付けられた中部新国際空港の早期建設に地域の総力を結集していくとともに、第二東名・名神高速道路、東海環状自動車道、三遠南信自動車道などの整備促進を図り、総合的な交通ネットワーク

の構築をめざしていきます。そして、いよいよ本年、二〇〇五年の開催をめざす国際博覧会の開催国が決定します。環境問題など人類共通の課題の解決や、人と自然が共生する二十一世紀型のまちづくりなど、「新しい地球創造

・自然の叡智」をテーマに、開催実現に向け全力で取り組んでまいります。本年も県民の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成九年元旦

愛知県板金工業組合

平成9年 新役員名簿

役職名	支部名	役員名	役職名	支部名	役員名
理事長	西	平野弘	理事	一宮	栗本政之
副理事長	千種	村上章	理事	瀬戸	大島順
常務理事	知多	斎藤充昭	理事	春日井	富本育三
常務理事	中	長谷川信俊	理事	津島	柴田人史
理事	西春	細野清	理事	犬山	小川国雄
理事	江南	滝伸次	理事	江南	石井輝憲
理事	岡崎	山本清	理事	小牧	田口繁勝
理事	豊田	甲原安男	理事	岩倉	丹羽芳男
理事	西尾	毛利貞夫	理事	岡崎	高柳一男
理事	知多	小嶋廣	理事	西谷	高橋銀吾
理事	知多	沼澤啓二	理事	刈谷	岡部鈴行
理事	知多	吉田政次	理事	豊田	西俣章
理事	西	加藤友三	理事	安城	杉浦茂之
理事	西春	羽柴弘和	理事	西尾	石川清
理事	碧南	小笠原裕	理事	知立	野田和彦
理事	瑞穂	大脇国和	理事	知多	岩瀬正明
理事	千種	堀部昌彦	理事	東三	蟹江重光
理事	東北	堀口正	理事	東三	大友堅治
理事	西	鈴木準一	理事	東北	日比野定雄
理事	熱田南	川村和利	理事	岡崎	高柳丑五郎
理事	中村	佐藤精祐	理事	岡崎	樽井神夫
理事	中	鈴木一三	理事	岡崎	清水功
理事	瑞穂	恩田勝義	理事	知多	二村武次
理事	中川港	棚橋敏光	理事	豊田	松井祐治
理事	伊藤正明		理事	青年部長	

▼ 頌 春 ▲

理事長

平野 弘



明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。切て、これまでの総ての常識が破壊される「大変な時代」が到来し、様々な産業分野に於て国際的な大競争経済市場、いわゆる「メガコンペティション」の時代の波に晒されております。これ迄我々建築板金業界は、激動する経済社会環境の中で、旺盛な活力と機動性と創造性の発揮により、幾多の困難を乗り越え、我が国建築業界の一翼を担って来ました。しかし、近年の構造変化、国際化の進展、国内産業の空洞化等々の危機に対応するためには、組合組織の強化と団結による技術の集団として英知を結集し、夢のある業界づくりに一歩一歩着実に事業を計画的に

進めていかねばならないと存じます。そのため政治の動きと共にこれと軌を一にする業界の将来ビジョンの骨格である責任施工制度の確立、福祉、年金、労働保険制度を軸に労働環境整備体質改善こそ急務でございます。ネクスト30の相言葉と新しいシンボルマークのもと、全板大会も成功させ、記念式典に於て、新ためて21世紀に向けて業界の将来ビジョンの実現化始動の年とし、更なる団結と協調を社会に宣言を致しました。又、中小企業団体中央会第45回愛知県大会席上、傘下の組織団体を代表し、本年四月より実施されます週所定労働時間40時間に短縮することは大変なコストアップとなり、生産性を上げ吸収するは極めて困難であり、現行特例措置の期間延長を強く要望したところであります。新しい年を迎え、業界を取りまく環境は更に厳しく苦しい経営を余儀なくされております。今、まさに、

副理事長



ベンチャーの時、創造と工夫による新規需要の開拓を求め、ユニークな発想と進取の気性をつつちかって、元氣いっぱい御健闘をお願いいたします。

組合員の皆様新年明けましてお目出度うございます。平成九年の輝かしい新春を御家族御一同様お揃いにてお迎えになられましたことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は県板金工業組合、名古屋板金連合会の各行事並びに講習会等の運営に多大な御協力を賜りましたことと厚く御礼申し上げます。

昨年末の十二月五日には全板連創立三十周年(旧日本建築板金協会創立二十五周年)の創立記念式典が東京のキャピタル東急ホテルに於て盛大に行なわれました。

公私の属します上部団体の力強い団結と式典を目のあたりにして喜びにたえませんでし

お願いし、一段のご理解と御協力を賜ります様。末筆でございますが、皆々様のご健康、ご繁栄を祈念し新年のご挨拶と致します。

村 上 章

更なるご発展を期したいものです。さて日本経済も長期に亘る不況を脱したと申されていますが大企業は其の様な状況下にあるかも知れませんが私共建築関連業界には少しも其の気配も感じられません。特に建築板金業況は四月よりの消費税アップによる二割増の費用にそなえる為にややもすると駆け込み需要があつて就業率が上つていますが中味内容については原価割れの様相がつづいています。

出の為にはリストラは勿論あらゆる部門において合理化省力化の推進を図って参りましたがもう限界に達した感があります。

自分の城は自分で守らねばなりません。今世紀中は景況の好転は望むべくもありませんが、中京地区にはJR名古屋駅ツインビルを始め、ボストン美術館、中部国際新空港の建設そして今年六月

副理事長



明けましておめでとう

御座います

何をさて置きましたも平成九年の念頭に際し此の一年がご家族様共々、ご健勝と益々のご繁栄を心からお祈り申し上げます。

バブル崩壊の後遺症から暗闇に迷い込んだ日本丸は敏腕な舵取り役のないまま依然として迷路から抜け出せず雲天状態の景気低迷が長引き不透明な先行きに不安材料が目立ちま

齋藤 充昭

に決定されます。万博誘致等々活性化に向けての大きな事業が本格化する迄何としても頑張らなければなりません。お互いに全智全能をかたむけて板金業界発展に向けて結集しましょう。

本年が皆様にとりましてよい年であります様祈念申し上げます。新年のご挨拶の結びとさせていただきます。

ある全板国保、県板共済、労働保険などの保険料滞納額が今期に入り八〇〇万円余りになって影響が大きくなりつつあります。また昨今は建築様式の多品種多様化と受注者のニーズそして発注形態の変革、高齢化進行などから板金業界色の強い対応策を早急に配慮することが肝要と考えます。

そこで二十一世紀に向けた板金業界色の強い生き残る道は全板連を主軸にした業界の重点事業である「責任施工保証制度」の推進と早急な取組みであると確信致します。

板金業者の資質向上と利益を最優先に考え、将来に続く繁栄の道しるべは「責任施工保証制度」の遂行に有ります。人より先に取組みを始めましょう。

そしてグループの輪を広げ企業化経営に転換する努力をしましう。手助けは県板が約束します。なお「愛板」には取組み方と基本説明を連載して行きます。最後に安全第一で利潤の多い明るく豊かな生活の一年であることを祈念いたします。

愛知県亜鉛鉄板問屋会

会長 神谷文男

- 株式会社 池田商店
株式会社 伊藤二郎商店
株式会社 ウチダ
株式会社 小河商店
太田商事株式会社
株式会社 神谷商店
斎藤商事株式会社
株式会社 名古屋下村商店
大栄商事株式会社
タカケン金属株式会社
武豊屋株式会社
株式会社 田中屋
有限会社 竹浅商店
株式会社 ちた嘉商店
中日鋼材株式会社
株式会社 野々山商店
合資会社 鋺正商店
株式会社 富士商店
丸中商事株式会社
マルサン金属建材株式会社
水野商店
株式会社 森口健商
株式会社 山善商
横山興業株式会社
株式会社 吉川商会
株式会社 吉田商店
塩比五社
積水化学工業株式会社
タキロン株式会社
東洋化学株式会社
松下電工株式会社
三菱樹脂株式会社

新年明けましておめでとうございます。旧年中は問屋会に対し、絶大なるご支援ご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は、国民無視ともいえる、政治行政問題が多発し、経済並びに不況対策が、なおざりであったように思えてなりません。今年は、ぜひひでも、不況対策を遂行させてほしいのは我々は元より国民全体の気持ちではないでしょうか。昨年、夏以降、若干の大型物件もみられました、全体的に低位に推移したように思われます。今年度前半においては消費税アップの実施を見込んでの若干の増加が見込まれますが、それもふたをあげなければわからないという状態ではないでしょうか。長期的には、国際空港、第二東名、JRツインビル、万博と大型プロジェクトは目白押しではありますが、一般並びに民間建築において、どのように推移するのか、予測が立たない程、流動的ではないでしょうか。そ

積水化学工業株式会社

中部支社長 塩谷昇

の様な状況の元で、我々問屋会のメンバーは建築板金業界に、携わる一員として組合員の皆様と手をとりあひながらより以上の情報交換又、交流しつつ新たにしておられます。今年度は特に消費税の問題もありますが、それ以上身近な問題は、週四十時間という労働時間の短縮であります。

新年あけましておめでとうございます。平素は、エスロン雨といはじめ当社建材製品に特別のご愛顧を賜り誠にありがとうございます。昨年は、消費税率引き上げの駆け込み需要もあり、新設住宅着工数は約一六〇万戸、前年伸長率7%と好調に推移しました。当社におきましても住宅部門

で世に送り出したのが新丸トップRV105です。RV105は従来の半丸サイズを統合し、かつ、リバーシブル(角でも使える)にしているため、工事店の皆様の在庫消滅に役立ち、体質改善の一助になると自負しております。本年は、当社設立50周年、エスロン雨とい発売40周年に当たる年です。皆様方と共に歩

謹賀新年

これは問屋もそうです。が特に天候に左右される業界は大変重要な問題ではないでしょうか。その様な意味では今年も大変な年になりそうですけれども問屋会のメンバーそれぞれ微力ですが、努力してまいりますので今後共よろしくお願い申し上げます。最後に申し上げますが、建築板金業界の増々の発展を祈念しつつ御挨拶にかえさせていただきます。

を筆頭に住宅資材部門でも当初の目標を上回ることができました。しかし、建材関連では他業種からの参入・厳しいコストダウン要求等、私たちを取り巻く経済環境は一層厳しくなっております。当社ではその変化に対応し皆様と共に事業を拡大するために、よりコストパフォーマンスの高い商品開発に取り組み参りました。その成果の一つとし

んできた40年を振り返りつつ、これから共に歩む道が希望に満ちた道になる様に新技術・新製品開発、CS向上をチャレンジ精神を持って実現していきたいと考えております。皆様方のご多幸とご健勝を祈念致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

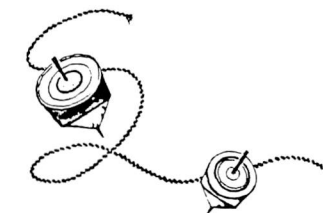


▼新年のご挨拶▲

株式会社クボタ 取締役中部支社長 井上重信

新年、明けましておめでとうございます。平成九年の新春を建築板金業界の皆様、並びに亜鉛鉄板問屋会の皆様と共に迎えるにあたり一言ご挨拶申し上げます。旧年中は当社建材商品であります屋根材・外壁材・雨樋に關しまして格別のご愛顧、ご高配を賜り誠にありがたく、厚く御礼申し上げます。住宅産業界の本年の展望としましては、昨年の消費税の駆け込み受注に伴なう着工増、低金利という二本柱に支えられた好況の後、一転して後半ぐらいより相当状況が厳しくなることが予想されます。こういう時代こそ企業としての真価を発揮すべき時ととらえ知恵と行動力で果敢にチャレンジしたいと考えております。

当社と致しましては、経営理念であります、豊かな社会の実現と進歩に貢献する「存在感が力強く主張できる会社」をめざし、本年も努力を続ける決意でございます。具体的には、屋根材新製品カラーベスト「セイバリー」「スベリアル」、外壁材新製品セラステート「ロゼッティ」「テッセラ」「ファブリック」以外にもアンテナ、コーニアルの拡販、ソーラー関連商品の一層の充実を図るなど、高付加価値品の供給を中心に皆様のお役に立ちたいと思っております。最後に皆様方の益々のご健勝とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



謹賀新年

常務理事

沼澤啓二

新年明けましてお目
出とうございます。

輝やかしい平成九年
の新春を、ご家族のご
一同様方と共に迎え
られた事を、心からお
慶び申し上げます。

昨年は内外を問わず
騒々しい年ではなかつ
たらうか、先づは最悪
であった食中毒、O157
の病原性大腸菌の発生
で、学校給食がパニッ
ク状態に陥り、経緯
を見守る中、沈静化し
たものの、今だに不透
明な結末となっている。
一方では高級官吏及び
警察官などによる不祥

新年明けましておめ
でとう御座居ます。組
合員の皆様良い年を、
お迎えの事と、お喜び
申し上げます。県板並
びに尾張板金連合会に
格別なる、御協力御指
導頂き厚くお礼申し上
げます。今年も昨年同
様、よろしくお願い申
し上げます。昨年も、
中小企業と取りまく環
境は依然として厳しく、
景気回復の先行きも不

事の数々、これでは国
民を無視した行政が頻
に発生し、我々の鬱
憤は募るばかり、信頼
回復には強行な改革を
望むもので、安易に
我々が納めた血税を乱
用されては無礼千万、
景気は依然として緩や
かな回復と報道される
も、一刻も早く経済構
造の改革を望み、私達
が安心して事業が継続
出来る環境と、中小
零細企業の優生的救済
に力を注いで欲しい。
我々の業界を取巻く
環境は厳しく、一部の
専門工事業者並びに流

常務理事

細野 清

透明の中、規制緩和、
価格破壊の進展、労働
時間の短縮等と相まっ
て、中小企業ととりわけ
小規模企業を取りまく
経営環境は厳しさを増
した年でした。又新制
度で行なわれた、衆議
院の総選挙の結果は自
民党の勝利でしたが、
依然として連立政権で
すが、早かれ、遅かれ
消費税の5%の値上げ
実施される事と思いま

通関係で、独自に工事
部を設け、市況の半値
の低価格の表示により
受注し、一般の業者を
阻害視し、混乱を招く
行為が啞然として横行
しているのが現状で、
大手ゼネコンの担当者
に確認するも、値崩し
は業者が勝手に提示し
ているので、その責任
は業者にあるとの返答
誠に残念で理解に苦し
むものだが、我々は一
刻も早く本来の姿に回
復される事を願うもの
です。尚これらの要因
を探究するに、材料の
仕入れに問題があり、
従来の殻から脱皮し、
格安に求められる新し
いルートの開拓にあと
思うが、お互に共通の
悩みとして解決したい
です。消費税値上げ前
の、御挨拶と致しま
す。



ものです。
先日或る工事団体に
よる、大小ゼネコンに
対する請願書を拝見し
ましたが、これらの内
容は、如何にコストダ
ウンの合理化に努めて
も限界を超え、良い仕
事を提供し、耐え忍ん
でも適正な価格で、受
注出来ない事により、
倒産企業も多発し、会
員は困惑し路頭に迷っ
ているので、適正な価
格で発注して欲しいと
の請願であり、他人事
として処理するのでは
なく、異業種の悩みと
も。

常務理事

して解決したいもの、
尚、これらの事に關し
て板金業界の上層部が
通産・建設の両省に懇
願して頂き、改善策を
講じて頂きたいもので
す。共存共栄の立場を
尊重し、これらの経緯
を踏まえ、組合員一人
一人が英知と工夫を発
揮し、お互いの企業が
繁栄に結びつく様頑張
りたいものです。
今年こそは最良の年
である事を祈願し、新
年の挨拶とさせて頂き
ます。

小嶋 広



信頼を得、ひいては組
合及び組合員の繁栄を
もたらすことになると
思います。この一年、
夢と希望を持ち頑張っ
てまいりましょう。

常務理事

謹んで新年のお喜び
申し上げます。組合員
の皆様増々の御清栄の
段重ねてお喜び申し上
げます。さてバブル崩
壊後六年の歳月が過ぎ
ましたが今だ景気の回
復はおろか、業界に
よっては業績が増々悪
化しているとの事、大
変な時代が来たもので
す。現在地で余力のあ
る会社は危機感を強め
海外への工場移転、進
出に拍車がかかってい
ます。特に東南アジア
諸国への進出は安い土
地購入低賃金、しかも
若い労働力が簡単に確
保でき資材が安く入る
のには、と考えると恐
ろしい状況が今後も続
くのでは、と考えられ
ていないでしようか。
今年は丑年です。私
達組合員は、一致団結
し、牛の歩みのように
力強く一歩一歩前進あ
るのみです。その為に
は一人一人がブライド
を持ち、皆で切磋琢磨
し、一層の技術向上に
より付加価値をつける
を。さて我々の業界
をとりまく空気も御多
分にもれず大変な時代
をむかえたものです。
業界のほとんどが零細
企業であり当然ながら
海外進出どころか町工
場から工業団地への移
転も出来ない状態であ
る、どうして生き残れ
ばいいのか思案投げ首
と云うところである、
又今年四月から労働時
間が週四十時間に施工
されます。この時間短
縮も大変な問題です。
この課題をクリアーし
ないと若い人材は来な
いと覚悟しなければな
りません。政府橋本内
閣は行政改革を火の玉
となつてやりとげると
宣言しています。今後
板金業界も個々技術力
を増やみながき、組合
の団結をおおいに活用
して二十一世紀に向つ
て生き残れるよう頑張
らなければなりません。
最後に組合員の皆様の
今後の御健勝と御多幸
をお祈りして新年の言
葉といたします。

滝 伸次

常務理事 長谷川 信俊

平成9年の新春を健やかに迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。景気の足どりはなお重くなかなか加速しない。バブルという幻に浮かれ踊った日本人は経済の平衡感覚を相当マヒさせてしまった。しかし、その後続いた不況に打ちのめされた。ようやく光が見えて来てはいるが本格的な右肩上りはもう来ないでしょう。企業経営の原点は対人関係である。経済活動の基盤は「人」であり「人と人」である。今経営者は時代が確実に変わりつつある事を肝に命じなければなりません。

全板連第2部会にて職業能力開発促進法に基づく技能訓

経営対策委員長 石原 鉄司

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、新しい希望に満ちた年をご家族お揃いで迎えられたこと、心よりお喜び申し上げます。

昨年「今年の抱負」と題してスチールハウスの勉強に取り組みたいと申し上げました

練の新しい展開について、従来からの「金属加工系型性加工科」(加工技能)に加えて「建築外装系屋根施工科」(施工技能)の合理的併設案を労働省中央職業能力開発協会に具体的に折衝を始めました。又、教育訓練に関する「基幹的技能者」等の育成に「建設産業共同教育訓練施設」(静岡県朝霧校)の共同活用への本格的な参画の必要性について調査研究を始めました。新年を迎えるにあたり、様々な課題を乗り越え技能の研鑽に努め、さらなる飛躍を祈念し、また合わせて皆様のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。

が、一度だけ技術委員会と合同で会合を開いただけで申し訳有りません、色々と資料集めをしていますがメーカー各社とも研究開発途上のため私も四苦八苦しています。本年はメーカーまた関係業界の方々のご協力をお願いして一歩でも二歩でも前に進みたいと思っていますので、皆様方

で何か資料などが入手出来ましたらご協力下されば幸いかと思います。

板金業界で働く若い人達に二十一世紀が希望と情熱が持てる様に皆様方のお知恵を拝借し、勉強会などを行い一歩

技術研究委員長 高柳 一男

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎えて心あらたに新年の計を思っておられることと思います。

景気の方はあがるかあがるかと思わせるだけであいかわらず良い方向には向かってくれません。まだこの状態が何時まで続くことかとおもうと新年早々気が晴れませんが、前向きに考えたいと思います。

さて昨年は保証制度の各種ある講習をまとめて講習するという計画で六月に岡崎で講習会を開催しました。講習内容は沢山なカリキュラムでしたので受講された方は大変だったこととお察しいたします。また講習の最後にはアンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケートの結果を書きますと『みんなまじめに受講してい

でも前に進む為に指導ご支援をお願い申し上げます。

新春とは申せまだ寒さ厳しい折りお体を大切に、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。あいさつといたします。

た」と受講者の声でした。しかし講習内容はとても難解、特に数式は理解できなかったという人が多かったようです。

普段仕事の中でまったく使っていない事が沢山出て来たと言うことだと思えます。その解決策も書いてありました。それはグラフ、図等を利用して一目で理解のし易い資料を作ってくれということ。また講習内容は野丁場に偏りすぎていて町場でやっている者にはあまりにも関係の薄い内容だということでした。この事については、講習計画を検討し直したいと思えます。

町場の仕事を整理して標準化(システム化)していけば、期待に添える講習計画が出来ると思えます。ご協力をお願いします。

いずれにしても、我々はプロとして御施主の要望に答え

そのみかえりとして糧を得ているのであり、御施主の要望に答えるための高品質なものを提供するために我々は日頃の研鑽を欠かせません。

建築業界は日進月歩どころかそれ以上に変化しています。技術研究委員会といたしましても、この流れに付いて行くと努力していくつもりです。

これからの課題としては、スチールハウス(経営対策委員会とともに)、保証制度の業種の拡大、講習内容のシステム化、コンピューターの勉強会と課題が山積しています。いずれにしても保証制度を我々の制度として営業に生かしていける方法を探りながら新たな方策を探り業界の発展をひいては我々組合員の発展を祈念したいと思えます。



事務局長 吉田 政次

新年明けましておめでとうございます。

よい年をお迎えになられたことと心よりお喜び申し上げます。

県板にお世話になってはや9ヶ月が過ぎました。多くの人々とお知り合いになれて大変喜んでいます。

当組合について素人が感じたことを若干申しあげます。まず、組合員数の多さに驚きました。2番目に、想像以上に色々な事業が多いことです。ですから、当然3番目はそれらの事業を遂行する人達の熱心さです。理事長はじめ組合員の皆さんが事業遂行に一生懸命に勤労奉仕をしておられるのを見るにつけ、組合の仕事にやりがいと緊張を感じております。

さて、全ての産業構造がめまぐるしく変化している時代にあつて、一人親方であっても法人企業と同じ土俵の上で争わなければならない厳しい時代だと思えます。また、新素材が出現したり新技術が要求される時代でも

あります。これからは幅広い技術の習得が生き残りのための必須条件かと考えます。

情報の収集、新技術の普及をはかり、一致団結して厳しい状況を乗り切

愛知県板金総合職業訓練協会

会長 羽柴 弘和

平成九年の新春を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様には今年も家族揃って良き新春を迎えられたことと思えます。心よりお喜び申し上げます。

平素協会に対して御協力をお願いいただき大変ありがとうございます。御陰で業会の後継者育成の訓練校運営も順調に進んでおります。

さて私共、若い人の訓練に携わっていて特に考えている事は、板金技能の基本的修得はもとより、仕事を通して社会に貢献できる人の育成に心掛ける事です。第一に普通道徳ができる人になることです。すなわち、エチケッ

られんことを切に願って止みません。プラス思考、プラス発想の能力に乏しい私ですが、組合事業にどんな努力も惜しまない所存であります。

新年にあたり、皆様方のご多幸を祈念し挨拶とさせていただきます。

トをはじめ、公衆マナーや法律などを守り、日常生活においては、できるだけ迅速、確実、安全に行動し、また時間や他人との約束などは良く守り、他人に好感・満足・安心を与えるようにすることです。

第二に、道徳の実行には勇気が必要であり、だれも行なわないのに自分だけ行なうのは損だとか、忙しいから当分は見合わせようと考える事が多いですが率先して勇気を持って道徳の実行が大切であることです。

第三に、私たちは、家庭や職場等で、つねに相手の立場を思いやり、相手の幸せのために尽くす心づかいが大切であること。

と。

第四に、道徳は本来、他人に強制されるものでなく、自主的に行うものと。

『北枕』

広報委員 吉田 万作

明けましておめでとうございます。

4月より消費税が上ります。3月までは駆け込み受注の現場で忙しいと思いますが、それ以後はどうなる事やら不安な気持ちで正月を迎えました。正月早々「北枕」とは縁起でもない？とんでもない「北枕」「仏滅」も良い事なんです。情報操作されていたんです。どれだけ昔の話かは知りませんが、北を向いて寝る事が体に良いと情報が入って（推測だが、多分中国からの帝王学）試してみたら、なるほど、これは良いもの一般民衆にさせてはならん、ではどうしたらいいか？仏教に乗せたのです。「北枕と仏滅」は悪い事と教え、仏教の教えと共に広がっていった。現に今の天皇陛下も皇太子の結婚式も我々のいう大安吉日ではなかったと記憶している。

であることを自覚し、品性のある人を多く送り出したいと考え私共頑張っています。

北枕に寝て利き腕を90度上げて他の人に押してもらって下さい。今度は反対の南枕で同じ事をやってみて下さい。どちらがパワーがあるか、10人中8人までは一目瞭然。私が言いたいののは、昔から情報操作が行なわれ、いかに我々に知らされてないかがいいのだ。厚生省の事件、出るは出るは、カラ出張、政官財のトップは何を考えているのやら、これでいいのか日本といたいのです。話はガラッと変わりますが、南極の上空オゾンホールが年々大きくなっている事はご存じと思いますが、南極に近い国々で、天気予報の時間に紫外線情報もあるそうです。赤ちゃんをお昼に日光浴させる。とんでもない、誰もやっていない、そんな事したら、赤ちゃんは皮膚ガンになります。それらの国での保育園、小学

校の制服は、帽子が耳と首筋を覆うものと黒にちかい色の長袖（白は紫外線を通すからだめ）サングラス（紫外線カット用）、日本でも、話題になつてる化粧品品のUVカットのクリームをつけての登下校、まるでギャングだね。その事を、何人の日本人が知っているか、報道されているか、フロンガスを一番出している国はどこか、日本なんです。フロンガスがオゾン層に行くまでに15年かかるそうです。今のオゾンホールは15年前のフロンガスが原因です。そういう情報公開されないものが、たくさんあり、何かあつてから対処する日本の考え方は間違っていると思う。急がなければならぬものがたくさんある。私にも子供がいま10年もしれば、孫もいるかもしれません。その子供、孫が安心して生活できる日本でありたい。そう願う年にしたい。



受賞者紹介

平成 8 年度は次の組合員の方々が表彰されましたので紹介します。

組合員こそって祝福しこれからも益々活躍されま
すよう祈念したいと存じます。

〈順不同、敬称略〉

◎労働大臣技能検定功労者表彰

近藤 朗 (瑞穂)

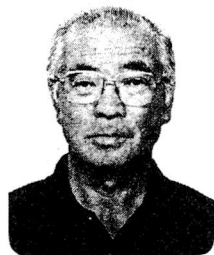


◎愛知県優秀技能者表彰

馬場喜郎 (東三)



片山甚平 (碧南)



◎全日本板金工業組合連合会

創立 30 周年記念 組合役員功労表彰

理事長 平野 弘



◎名古屋市技能功労者表彰

大脇国和 (瑞穂)



山口健作 (熱田南)



川合 清 (中)



堀口 正 (東北)



◎愛知県中小企業団体中央会長表彰

鷲見 收 (昭和)



蟹江重光 (知多)



恩田勝義 (瑞穂)



伊藤正明 (瑞穂)



◎愛知県技能士会連合会会員功労表彰

山本 清 (岡崎)



高木信彦 (中川港)



原田重夫 (東三)



今井文夫 (江南)



浦野利一 (知多)



西三板金連合会

役員総会開催

西三板金連合会(会長山本清氏)は11月7日第29回役員総会を形成温泉ホテル新葵荘に於いて開催した。西三板金連合会は西三河ブロックの8支部で構成され、今回の総会は碧南支部が幹事を担当して行なわれた。当日の出席者は会員55名と来賓6名の合計61名があり、開会を待つ間、ロビーに青年部が成人訓練で制作した銅板の打ち出し作品が展示されておりこれを見学した。総会は神谷氏(碧南)



の司会で進行され、まず西侯副会長(豊田)の開会の辞があり、続いて全員で物故者に黙祈を行なった。さらに担当支部長と山本会長(岡崎)の挨拶に続き来賓代表として御田中屋社長の挨拶があった。議長に高柳副会長

多数の出席を願いたい、又役割分担については執行部にて決めさせていただくので協力願いたいという要望を述べた。最後の議題である役員改選については9名の選挙委員が別室にて協議し、監査の村松氏(西尾)が退任し安城支部より1名を補充する。その他の役員は留任する旨提案があり、万場一致でこれを承認した。議事後、吉田事務局長が壇上に立たれ、平野理事長がやむをえない事情で欠席された事を詫られ、替りに県板の現況を報告された。毛利副会長の開会の辞により総会を終了した。休憩の後第二部に入り、まず「太陽光発電システム」について自らこの分野を経営に取り入れている村松氏(西尾)が詳しく説明された。続いて「五人会」(大同鋼板㈱、御田中屋がそれぞれの商品説明し予定時刻をオーバーした。当日の夜は宿泊となっていたので、ゆっくりと温泉につかった後懇親会に移り、西三板金連合会のモットーである「和」を深めた。

県板青年部

第19回全国建築板金競技大会の講習会を開催

県板青年部(松井祐治部長)は、去る11月24日(日)、12月1日(日)の両日、岡崎技術工学院に於いて来る平成9年2月12(水)、13日(木)福島県郡山市熱海町にある「磐梯グラインドホテル」にて実施される第19回全国建築板金競技大会の「図面」と「実技」の講習会を開催した。11月24日(日)は午前中に「建築技術の部」の施工図(保育園の新築工事)について松代一郎氏(名古屋西)を講師にお願いして講習(参加者15名)を受けました。今回の課題は図面が7枚もある点及び注意点の中に「一本課題の趣旨は、きれいに作図することのみを目的とするのではなく斬新な発想等を問うものである。たとえばフリーハンド等の自由な表現方法も可とする。」とあるなど前回(第18回)と同様の内容になっていきます。また、講習の中で松代氏より

を使って作図します。また、今回の講習会は中板協青年部の図面講習会(愛知県担当)を兼ねており他県の部長さんも参加されました。12月1日(日)は午前9時より「水差し」の実技講習会(参加者28名)を実施しました。これは銅板の「ハコシ」を使用するものです。県板青年部は来る平成9年1月11日(土)午前8時30分より岡崎技術工学院にて愛知県予選(知多ブロック担当)を開催して各部門2名の選手を全国大会に送る予定です。

11月各支部の動き

名古屋板金連合会	14日	尾張名古屋職人展反省会
昭和支部	8日	月例会
中村支部	26日	定例会
中川港支部	11日	青年部定例会
19日	青年部ゴルフコンペ	13名
25日	支部定例会	
緑支部	15日	8年度納会
一宮支部	29日	役員会
西三板金連合会	7日	役員総会
碧南支部	28日	役員会
豊田支部	9日	第8回役員会
刈谷支部	9日	役員会（忘年会・総会の件）
知多支部	9日	支部理事会
15日	支部役員会	
30日	青年部忘年会	
東三支部	2日	定例会
7日	東板会ゴルフコンペ	
9日	青年部役員会	
22日	三役会	

編集後記

明けましておめでとう

「愛板」は新年号で三一二号になりました。御馴染みになった掲載記事末尾の筆者のサインから、個性や特徴、持ち味、得意とする記事など編集スタッフそれぞれの人像を描いて頂けると幸いです。取材をして間違いのない記事を書く努力型、ユニークな発想の委員、真面目一本我が道を行く人など、毎月末に開かれる編集会議は、わいわいがやがや、和やかな中から「愛板」が誕生します。今年は新しい血を導入し視野の広がりを計っていきま